

「死にたい」にどう対応するか？

開催日 2019年2月25日(月)

場所 日本財団 2階 大会議室

参加費 無料

研修内容

- 第1部 **自殺の現状を知る**
臨床に生かすための自殺の統計と現状
自殺に関する統計的データ
年間自殺者数／自殺率／致死率と性別／未遂率の性差
年齢・職業・曜日・配偶者・遺書の有無／国際比較等
- 第2部 **どのように自殺のリスクを測るのか**
自殺の危険因子と理解とリスクアセスメントの方法
自殺の危険因子と偽陰性
自殺に追いつめられる心理
- 第3部 **事例を通じたケースの理解**
「死にたい」と訴える若者の理解とアセスメント
- 第4部 **自殺の危機にある人にどう関わるか**
危機介入方法のポイント
支援者の逆転移
チームによる支援／バーンアウトの予防

講師

伊藤次郎 自殺総合対策東京会議 委員
新宿区自殺対策計画検討部会 委員
江戸川区自殺未遂者支援会議
スーパーバイザー

【略歴】

学習院大学法学科卒業。EAPプロバイダーを経て精神保健福祉士・産業カウンセラーなどの資格取得後、精神科にて復職支援(リワーク)に従事。

2013年マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者にリーチする世界的に前例のない「インターネット・ゲートキーパー」の手法を開発実施、2014年NPO法人OVAを設立。2016年日本財団ソーシャルイノベーターに選出される。

【メディア掲載】

朝日新聞「ひと」「社説」、NHK「ハートネット」、ロサンゼルスタイムズ(米)SBSドキュメンタリ(凜)など国内外で多数。

【講習・研修実績】

韓国水原市自殺予防センター(アジュ大学)・東京大学大学院・明治大学大学院・北海道立精神保健福祉センター・東京都ほか 教育機関・行政機関・民間企業で多数

清水幸恵

NPO法人OVAシニアコンサルタント(相談員)
臨床心理士

【略歴】

東京学芸大学大学院卒業。精神科単科病院にて、心理士にて勤務。慢性期病棟、急性期治療病棟、スーパー救急病棟などを担当。心理検査、個人面接から、心理教育、SST、回想法、家族SST等のグループの運営にかかわる。また、ひきこもりの若者の居場所や社会参加グループなどにもかかわり、10年ほど勤務した。2014年9月よりOVAの相談員(シニアコンサルタント)として活動。

開催詳細

- 時 間 2019年2月25日(月) 開場 12:45
研修 13:00 ~ 17:00
- アクセス 日本財団ビル 2階 大会議室
東京都港区赤坂 1-2-2
(最寄駅) 東京メトロ 虎ノ門駅・溜池山王駅
国会議事堂前駅
- 対 象 対人援助職・自殺対策に関わる自治体職員
(保健師・看護師・社会福祉士・精神保健福祉士
臨床心理士・地方自治体で自殺対策の関わる方等)

お申し込み方法

- メール info@ova-japan.org
下記の必要事項をメールしてください
件名 2/25研修申し込み
・お名前
・ご所属
・メールアドレス

助成

日本財団

主催

特定非営利活動法人 OVA

東京都新宿区高田馬場 4-1-7-501

TEL 03-5358-9580

担当: 土田

